

北海道消費者被害防止 ネットワークニュース No.96

【事務局】北海道立消費生活センター <http://www.do-syouhi-c.jp> 《指定管理者（一社）北海道消費者協会》

〒060-0003 札幌市中央区北3条西7丁目 北海道庁別館西棟 TEL011-221-0110 FAX011-221-4210

新型コロナウイルスに便乗した悪質商法に注意！

道立消費生活センターでは、新型コロナウイルスの感染拡大に伴いマスクの品薄状態が続く中、事業者を装って「マスクを明日発送する」といった偽メールを送りつけられる相談が複数寄せられています。個人情報情報の詐取を狙ったフィッシングメールである可能性が高く、注意をするよう呼び掛けています。

マスク不足に便乗したフィッシングに関する手口に注意！



相談事例

スマホに注文した覚えのないマスクの請求メールが届いた。メールには、50枚入り3箱のマスク12,000円を代引きで明日出荷予定とあるが、便乗した架空請求か。

アドバイス

身に覚えのない請求メールは対応せずに、無視しましょう。また、記載されているURLはフィッシング詐欺の可能性があるので絶対にクリックしない、個人情報も入力しないことが大切です。

なお、北海道警察では、マスクを無料送付する内容のフィッシングメッセージから、宅配業者を騙ったフィッシングサイトへ誘導されるため、注意するよう呼び掛けています。

マスク販売の偽サイトも確認されており代金を支払っても商品が届かなかったり、会員登録時の個人情報やクレジットカードの情報等を盗み取られたりする可能性があります。

(参考：cyber-道 net News)

新型コロナウイルスによる肺炎が広がっている問題で、マスクを無料送付。確認をお願いします

<http://〇〇〇.com>

(例：偽ショートメッセージ)

Point

マスクの転売は禁止になります！！

政府は10日の閣議で国民生活安定緊急措置法の政令改正を決定し、15日から施行しました。これにより、個人や業者が小売りなどで購入したマスクを取得価格よりも高価で転売すると違反となり1年以下の懲役または100万円以下の罰金となります。

不審だなと思ったら

その他にも、こんな便乗商法の手口が！！

- ・訪問販売で「下水道にウイルスが付いている、除去に約10万円かかる」
- ・電話勧誘で「金の相場が上がる、すぐに申し込んだ方がいい」
- ・商品広告についても「ビタミンCはウイルスから体を守る」「新型コロナウイルス予防にタンポポ茶」、「アオサ、新型コロナウイルス対策」、「天然わら納豆にウイルスは勝てない！」など根拠が認められていない表示が・・・。

令和元年 北海道消費者被害防止ネットワーク定例会議開催

去る2月18日、令和元年度北海道消費者被害防止ネットワーク定例会議を当センターにて開催、28団体41名が参加し、活発な意見交換が行われました。

「特殊詐欺類似窃盗」が、前年に比べ4倍に！

会議では、幹事団体である当センター、北海道警察及び北海道消費者安全課より最近の相談状況や行政処分の状況などが報告されました。

北海道警察では、警察官を装って被害者に電話をかけ、「キャッシュカードが不正利用されている」等と言って、キャッシュカードを準備させた上で、隙をみて、同カードを詐取する「特殊詐欺類似窃盗」が、前年に比べ4倍に増加しているとの報告がありました。また、当センターからは、高齢化により役場の人員や体制等に影響がでており、地域ネットワークの設置が中々進まない点などをあげ、構成団体へ協力を呼びかけるなどしました。北海道消費者安全課からは、2年ぶりに実施した地域ネットワークの現況調査報告があり、調査に基づいた支援を今後は検討していきます。



水際対策！電話は留守番設定に。

各構成団体からは、取組状況や課題などについての報告がありました。協議事項では、北海道総合通信局から「悪質商法や特殊詐欺の水際対策として特殊詐欺被害防止電話機の普及啓発について実施している事例がないかをお聴きたい」との意見があり、北海道警察からは、各家庭の経済的な面もあることから、留守番電話設定を各警察署で推奨しているとの返答がありました。

また、北海道警察が、「特殊詐欺類似窃盗」の実際に使われていた手口の疑問点を、封筒を使用して実演を交えながら説明し、解消に努めました。今後も同事犯が増加することが考えられるため、欠席された構成団体の皆様におかれましても、周囲における注意喚起をお願い申し上げます。（事務局）



北広島市にネットワーク会議が設置！速報

北広島市に「北広島市消費者被害防止地域ネットワーク会議」が令和2年2月18日に設置されました。市は、設立会議を3月18日予定していましたが、コロナウィルスの関係で設立会議はやむを得ず中止、しかし、担当者からは、その会議のために各構成団体から集めた情報を配布するなどして積極的に活用・共有していきたいとの話がありました。

今後は年に1回以上の情報共有を目的とした会議を開催し、必要に応じて、活動を上げていきたいとのことでした。今回のような意見交換等の会議を目的としたネットワークは、道内では初であり、今後は無理のない、自治体の体制にあったネットワークを構築する先例となりそうです。

キャッシュカードをだまし取る詐欺に注意!!

警察官や金融庁をかたって高齢者の自宅を来訪し、キャッシュカードを見せてもらい、隙を見て偽物とすり替える「カードすり替え詐欺」と呼ばれる被害が急増しています。

① 警察役から電話

カードが偽装されている可能性があります。金融庁職員を自宅に向かわせます。



えっ!?

私のカードが?



“ピンポン”

ガチャ



② 金融庁職員役が来訪

カードを止めるので暗証番号のメモと一緒に封筒に入れて下さい。



③ 印鑑を持ってこさせる

割り印があるので印鑑をお願いします。

ポイント

印鑑を室内に取りに行かせ、その場から離れさせる。



④ 被害者が離れた隙にすり替えて、偽物のカードが入った封筒を渡す

ポイント

被害者は偽物のカードが手元にあるため、盗まれたことに気づきにくい!

3日間保管するように言われて放置することで発覚が遅れる。

⑤ 犯人が本物の封筒の方を持ち去る



3日間保管して下さい。これで、安心です。

⑥ 盗んだカードで犯人が現金を引き出す

**警察官から電話があっても、むやみに信用しない
他人にキャッシュカードを渡さない!!**

LINE への不正ログイン発覚！！

LINE

通信アプリ LINE は、2020 年 2 月 LINE のアカウントに対して複数の不正ログインの試みが発生し、利用者4225人の LINE アカウントが不正ログインの被害を受けたと発表しました。利用者になりすまして意図しないメッセージや投稿がされ、中には詐欺メールも確認されており、注意を呼び掛けています。

◆不正ログインとは、文字通り不正な方法でログインすることです。下記のとおり身に覚えのないログイン通知かメッセージやタイムラインが届いたら不正ログインされている場合があります。悪用された場合、LINE アカウント自体の乗っ取りではなく、アカウントは継続して利用できます。2 月 26 日時点で LINE が公表した被害件数は、日本:4,073 台湾:81 他:69 合計 4,225 件です。

身に覚えのないログイン通知

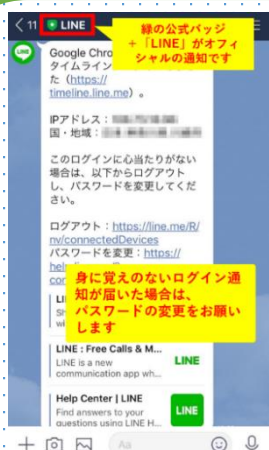
手口

・LINE 関連サービスやデスクトップアプリにログインを行うと、認証済みアカウントのバッジが表示されている「LINE」という名称の公式アカウントからログイン通知が届きます。

アドバイス

・メッセージ内容を確認し、ログイン通知に身に覚えのない場合、パスワードを変更してください。

気をつけて!!



ログイン通知の画面イメージ(元画像)

◆下記のメッセージ及びタイムライン投稿の内容は LINE アカウントの恒久的な乗っ取りを目的としたフィッシング詐欺のための URL が含まれています。このようなメッセージは、注意が必要です。

LINE の友達からフィッシングらしきメッセージ通知

手口

・フィッシング詐欺のための URL が含まれるメッセージが友人などから送られてくる

アドバイス

・メッセージ内容、またはタイムライン投稿内容を通報してください。(左記画像参照)
・内容に、URL が書かれていても開かないでください。万が一、URL を開いても、(パスワードなど)一切何も画面から入力しないでください。



不審なメッセージ送信の画面イメージ(元画像)